

神田公民館だより



令和元年7月発行

【第4号】

田村地区の情報満載！

わたしの田村



発行：平塚市立神田公民館 平塚市田村3-12-5 電話 55-0239 FAX 51-1364

ECOな買い物を学ぼう

紙芝居を見たり、楽しく話し合ったりしながら環境にやさしい買い物の仕方を学びます。最後には、グループで学んだ成果を発表。地域の大人の方も是非、見学に来てください。

- ・日時 8月7日(水) 10時～11時30分
- ・対象 小学生(4年生まで)
- ・持ち物 飲み物、筆記用具
- ・講師 柳川 三郎さん(ひらつか環境ファンクラブ代表、地球温暖化防止活動推進員)他
- ・申込み 7月26日(金)までに神田公民館へ直接又は電話でお申込みください。
- ・その他 記録のために講座の様子を写真に撮らせていただくことがあります。
- ・場所 神田公民館 集会室
- ・参加費 無料

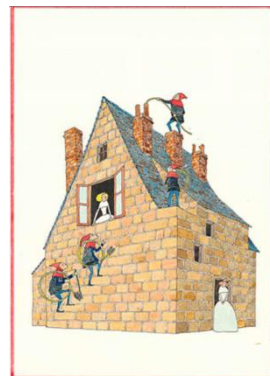


美術鑑賞講座(学芸員による解説付き) 平塚市美術館の企画展と一緒に見学しましょう！

安野光雅展 絵本とデザインの仕事

講座参加者
観覧料無料

1968年に『ふしぎなえ』で絵本デビューをした安野光雅は、画家、絵本作家、装丁家、デザイナーなど幅広く活躍し、国際アンデルセン賞をはじめ、国内外でさまざまな賞を受賞しています。安野光雅の作品は、俯瞰的な構図を用いながら細部まで丁寧に描かれており、まるで、出身地・島根県津和野の町を周囲の山々から一望し、人々の暮らしの一角を描き留めているように感じられます。本展覧会では、安野光雅の仕事語る上では切り離せない絵本の原画はもちろんのこと、絵本そのものや挿絵や装丁した本、ポスターなど、初期から現在までの安野光雅の世界の全貌を紹介します。



『ふしぎなえ』表紙
1968年 津和野町立安野光雅
美術館蔵 © 空想工房

- 【日時】8月9日(金) 10時～12時 【会場】平塚市美術館(西八幡1-3-3)
- 【対象者】神田・横内・大神・岡崎・豊田・城島公民館地区内にお住まいの方
- 【集合】9:50までに美術館ロビー集合<現地集合/現地解散>
- 【内容】①学芸員による展覧会の解説 ②自由鑑賞 【定員】30名(先着順)
- 【申込み】神田公民館へ直接又は電話で申込みください <<申込開始日:7月17日(水)9時~>>
- 【その他】駐車場には限りがあります(有料)。ご来場の際には公共交通機関をご利用ください。

～「食」に学ぶ地域の魅力～平塚こだわりのものづくり

ジェラート、焼き菓子、お魚、トマトジュース。平塚の特徴的な「おいしいものづくり」に携わる人たちが紹介します。

ジェラートの試食、平塚のお魚を使った調理実習など盛りだくさんの講座です。

- 日時 令和元年7月31日(水) 13:30～15:00(ジェラート紹介:角笛会、平塚市農水産課)、8月8日(木) 10:00～11:30(焼き菓子作り:マ・コピーヌ松元しのぶ氏)、8月29日(木) 10:00～12:00(平塚のお魚:平塚漁業協同組合 伏黒哲司氏)、9月4日(水) 10:00～11:30(トマトジュース作り:しんわろネットサンス)
- 場所 平塚市中央公民館:4A 講義室、調理室 館外学習:しんわろネットサンス(市マイクロバス使用)
- 対象 18歳以上 24名
- 参加費 500円(材料費込) ■申込み 7月17日(水)までにハガキ(消印有効)、メールまたは窓口でお申込みください。記載事項「講座名(こだわりのものづくり)・氏名・フリガナ・郵便番号・住所・年代・電話番号を平塚市中央公民館へ(宛先)254-0047平塚市追分1-20(メール) chuo-k@city.hiratsuka.kanagawa.jp ■問合せ 中央公民館 電話 34-2111

【児童・生徒地域参加事業】 公民館で日本の文化にふれてみませんか

参加者募集

こども生け花教室



こどもができる生け花です。生けた花は家族へのプレゼントにもなります。
きょうだいで参加も歓迎。10月の平塚市文化祭に出展し、みんなにみてもらおう。

- ◆日程 ①: **8月6日(火)** ②: **8月16日(金)** ③: **8月24日(土)**
※3日間すべてに参加できない場合は、いずれかの日のみの参加でも構いません。
- ◆時間 10時～11時30分
- ◆場所 **神田公民館1階 集会室**
- ◆参加費 1回につき1人500円(当日徴収)※花代として
※10月の文化祭参加には、参加費とは別に1,000円(花代)が必要です
- ◆対象 小学生、中学生(一緒に保護者が参加する場合は、別途参加費が必要となります)
※小学1、2年生は保護者の方と一緒に参加してください。
- ◆持ち物 花はさみ(持っていれば)、新聞紙、テーブル拭き用タオル、筆記用具
- ◆定員 20名(定員になり次第締切)
- ◆講師 平塚華道協会
- ◆申込み 7月26日(金)までに神田公民館へ直接または電話でお申込みください。
※キャンセルする場合は、早めに神田公民館へご連絡ください。
- ◆主催 神田公民館、大神公民館、神田中学校区地域教育力ネットワーク協議会(若樹の会)

【田村周辺の地を訪ねる16】 牛が淵古戦場

大神の隆盛寺の北側の字西八幡原^{ほちまんぼら}一带は戦国時代の古戦場であったと伝えられる。この付近一带から八幡原にかけての地を牛ヶ淵と呼んだ。『新編相模国風土記稿』には、「永禄四年三月、上杉輝虎(謙信)、永禄十二年十月、武田信玄等、小田原発向の時、共に此^{この}辺陣所となる」とある。【豆相記】、【相州兵乱記】、【甲陽軍鑑】などの戦国時代の軍記物にも大磯・小磯・藤澤・田村・大上・八幡・厚木^{むら}等邑が謙信や信玄の陣所となった同様の記載がある。上杉謙信が小田原城を攻囲したが武田・今川と三国同盟を結んでいた北条氏康は小田原城を堅守した。その後、武田信玄、勝頼が小田原攻めをしたが、北条氏康は籠城戦術で武田軍の食糧を詰まらせ、退陣の止むなきに至らせることになった。小田原北条の軍勢は真芳寺^{とりで}砦(墨染館)付近に集結し、隆盛寺付近に打って出て武田軍と合戦に及んだといわれる。この地は東方に相模川、西方は水田が共に入り込んで狭まり、八王子道が通って南下北上する軍勢をはばむには絶好の場所であったと平塚観光協会の碑にも説明されている。付近には内出、出口などの地名があり、また戦死者を供養したと思われる五輪塔などが多数存在し古戦場の名残をとどめている。(神田郷土史研究会 平井 晃)



古戦場の碑



古戦場の跡

おらせ

涼しい

学生の自主学習の場として、**公民館「和室」を開放**します。

- 開放日時 夏休み期間中で北図書館が休館の日(次のとおり) いずれも9時～17時
7/22(月)、29(月)、31(水)、 8/5(月)、13(火)、19(月)、26(月)
- 利用できる方 小学生～高校生
- 利用方法 利用当日に公民館窓口でお申し出ください。